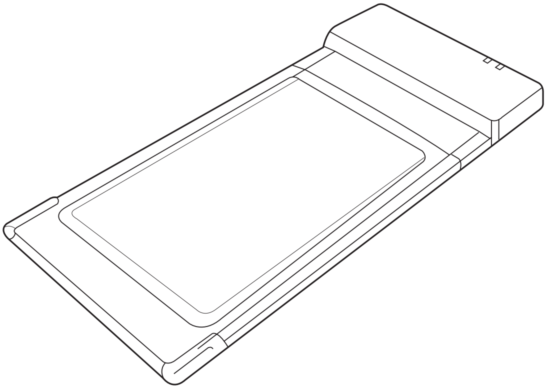
TOSHIBA

無線LAN PCカード
取扱説明書

IPCN052A



ご使用の前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に作業していただくための事項です。

目次の項目、頁数は校了時までに調整します。

もくじ

もくじ…… 2
安心してお使いいただくために…… 3
ご使用上のお願い…… 8
はじめに…… 12
本書の構成…… 14
本書の読み方…… 17
特長…… 19
動作環境…… 20

1章　ご使用の前に…… 21
1 同梱品の確認…… 22
2 取り扱いについて…… 23
3 使用上のお願い…… 24
4 各部の名称と機能…… 32
5 構成図…… 33

2章　本PCカードの設定…… 35
1 設定の流れ…… 36
2 インストールを始める前に…… 37
3 ドライバ／クライアントマネージャのインストール…… 40
4 クライアントマネージャの設定…… 57
5 ネットワークの接続設定…… 67
6 本PCカードの取りはずし…… 68
7 クライアントマネージャのアンインストール…… 72

3章　故障かな？と思ったら…… 77
1 トラブルシューティング…… 78

4章　付録…… 81
1 製品仕様…… 82
2 用語解説…… 84

5章　修理サービスのご案内…… 87
1 ユーザサポート窓口のご案内…… 88

安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。
本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。
お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の意味

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	**⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。** 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	**●は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。** 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	**△は、注意を示します。** 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- **地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。**
- **本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**

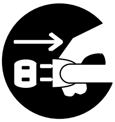
・本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
・本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

警告

●本装置の取り扱いについて

もし、異常な音や異常な臭いがしたり、過熱、発煙したときは、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと

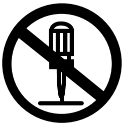
そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。
「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜け

分解・改造・修理しないこと

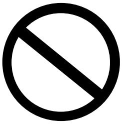
火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。
修理は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。



分解禁止

ビニール袋などの包装材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



禁止

⚠警告

●無線通信について

付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、パソコン本体の電源を切ること
電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

心臓ペースメーカの装着部位から22㎝ 以上離すこと
電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではパソコン本体の電源を切ること、また、医療用電気機器を近づけないこと
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くではパソコン本体の電源を切ること
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、パソコン本体の電源を切ること
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

パソコン本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合はパソコン本体の電源を切ること
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

注意

●本装置の取り扱いについて

ステープル、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。

禁止

雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと

雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。

禁止

アプリケーションソフトの作動中に電源を切らないこと

データ消失のおそれがあります。

禁止

ご使用上のお願い

●本装置の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

極端に低温になるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

急激な温度変化を与えないでください。

結露が生じ故障、誤動作の原因となります。
結露が生じたときは、室内に置き、自然乾燥させてから電源を入れてご使用ください。

雷が鳴っているときは使用しないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。

磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。

故障、誤動作の原因となります。

ほこりの多いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買いあげの販売店または「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

振動が強いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質、変形、変色の原因となります。

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損・故障の原因となります。

東芝純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。

東芝純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのケガ、財産への損害およびパソコン本体の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

●無線通信について

電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮蔽された部屋などでは、ご使用にならないでください。

設置環境により、電波が届かない場合があります。

用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

*1： 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。
- ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（*3）が必要となるので、当社営業窓口に相談してください。

*2： 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3： 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

連続運転について

長時間の（24時間を越えるような）連続運転をしないでください。
本製品を使わないときは、電源を必ず切ってください。

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

●修理について

【無料修理（保証修理）】

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

修理依頼につきましては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」へお問い合わせください。

●部品について

【部品の交換について】

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

【保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間】

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6ヶ月です。

はじめに

このたびは東芝「無線LAN　PCカード」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「無線LAN　PCカード」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に保管してください。

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

●瞬時電圧低下対策について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願い 本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

●お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・メディアに記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご一報ください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

●本サポートソフトウェアについて

・本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権はお客様に移転されません。
・本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
・書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

●Trademarks

・Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・その他の商品名、商標は各社の商標または登録商標です。

本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的に合わせて必要なところからお読みください。

1章　ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明しています。

●梱包品を確認するとき
→「1同梱品の確認」
●本製品の取り扱いや注意事項を確認するとき
→「2取り扱いについて」「3使用上のお願い」
●本装置の各部の名称と機能を確認するとき
→「4各部の名称と機能」
●本装置を使用したネットワーク環境を確認するとき
→「5構成図」

⇩

2章　本PCカードの設定

本製品を使用するまでの設定方法について説明しています。

●本製品を使用するまでの設定の流れを確認するとき
→「1設定の流れ」
●インストールを始める前の注意事項等確認するとき
→「2インストールを始める前に」
PCカードスロットの電源供給の確認
パソコン本体の省電力機能が働かないように設定する
使用するPCカードスロットのモードを確認
本ドライバCDのインストールについて
●本PCカード以外のネットワークアダプタを使用不可にするとき
→「3ネットワークアダプタの設定」
●ドライバ、およびクライアントマネージャをインストールするとき
→「4ドライバ／クライアントマネージャのインストール」
Windows XPでのインストール
Windows 2000、Windows Me/98でのインストール
Windows NT4.0でのインストール
インストール後のドライバの確認

⇩　次頁へつづく

2章　本PCカードの設定

●クライアントマネージャの設定をするとき
→「5クライアントマネージャの設定」
●ネットワークの接続設定をするとき
→「6ネットワークの接続設定」
●本PCカードを取りはずすとき
→「7本PCカードの取りはずし」
Windows Me/98の場合
Windows XPの場合
Windows 2000の場合
Windows NT4.0の場合
●クライアントマネージャをアンインストールするとき
→「8クライアントマネージャのアンインストール」

3章　故障かな？と思ったら

本装置が正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時のハードウェア的な問題内容、及び対処方法について説明しています。

●本PCカードが正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われるとき
→「1トラブルシューティング」

次頁へつづく

4章　付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

●本製品の仕様を確認するとき
→「1製品仕様」
●本書で使われている専門用語を確認するとき
→「2用語解説」

5章　修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

●技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせをするとき
→「1ユーザサポート窓口のご案内」

本書の読み方

■記号の意味

⚠警　告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注　意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性のあることを示しています。

お願い

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メ　モ

・知っておくと便利なことを説明しています。

■画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

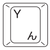
【例】

Total=××××KB

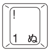
このように画面上または本文中の記号を×で表している場合は、実際には様々な数字や記号が入ります。

■入力するキーの表現

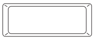
操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを囲んで示しています。

Y キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 

を押してください。

1 キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 

を押してください。

Space キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  を押してください。

■操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つですむ場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl + Alt + Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

■用語について

本書では、次の用語について定義します。

本PCカード・・・・・・・・・・・・・・・「無線LAN PCカード」本体を示します。

本ドライバCD・・・・・・・・・・・・・ドライバ/ユーティリティCDを示します。

システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)を示します。

アプリケーション
または
アプリケーションソフト・・・アプリケーションソフトウェアを示します。

特長

本PCカードは、次のような特長をもっています。

◆**IEEE802.11bに準拠しており、通信速度11Mbpsが可能**

◆**無線免許が不要な2.4GHz帯の小電力通信システムを採用**

◆**ノイズに強いDSSS方式（直接スペクトラム拡散方式）を採用**

◆**通信可能距離は、屋外50m 屋内30m（但し、使用環境により異なります）**

⚠注　意　通信速度は規格による速度を示したものであり、実効速度は異なる場合があります。

動作環境

PCカードスロット（TYPEⅡ）を装備しているDOS/Vパソコンに対応しています（NEC　PC98-NXシリーズおよびEPSON製98互換機には対応していません）。

本製品は次のOSに対応しています。

・Windows Me
・Windows 98 Second Edition
・Windows XP
・Windows 2000
・Windows NT4.0 Workstation

※ACPI機能には対応していません。

OSの確認と同時にドライブ構成の確認も行ってください。

本書では、
・3.5インチフロッピーディスクドライブ　→【A:】
・ハードディスク(ローカルディスク)ドライブ　→【C:】
・CD-ROMドライブ　→【D:】

と表示しています。ご使用のパソコンのドライブ構成を確認したうえで、本書をお読みください。

1章

ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明します。

1 同梱品の確認

主なな同梱物を次にあげます。
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までお問い合わせください。

●無線LAN PCカード（本体）
●保証書
●取扱説明書
●ドライバ／ユーティリティCD
●ARIB-T66 ステッカー

2 取り扱いについて

本PCカードについて

注意

- パソコン本体に接続して使用している最中や、使用直後の本PCカードに長時間触れないでください。
  低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方は特にご注意ください。
- PCカードを取りはずす際は、PCカードを使用停止状態にしてください。
  使用停止せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。
- 本PCカードを使用中は、パソコン本体の省電力機能を使用しないでください。
  スタンバイモード／休止状態への移行、通常モードへの復帰が正常に行えない場合があります。
- スタンバイモード／休止状態の時にPCカードの抜き差しを行わないでください。スタンバイモード／休止状態からの復帰後にPCカードを正常に認識しない場合があります。
- システム起動時にPCカードスロットにPCカードを挿入している場合、PCカードを認識しなかったり、起動に時間がかかることがあります。PCカードを認識しない場合は、PCカードのイジェクトボタンを押し、PCカードを取り出した後、もう1度挿入し直してください。

お願い

- 上下にスロット0と1を搭載しているパソコン本体において、スロット0にタイプⅢのPCカードを取り付けた場合は、スロット1にPCカードを取り付けることはできません。

3 使用上のお願い

日常のお手入れと保管・運搬

●装置外面部の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を少量含ませた布で拭き取ったうえ、乾いた布で乾拭きしてください。
●アルコール、シンナーなどの有機溶剤は、印刷された文字が消えたり、装置の材質を侵す危険がありますので、使用しないでください。
また殺虫剤などをかけないようにしてください。
●本装置に電源の入った状態での移動は絶対に行わないでください。
本装置を損傷することがあります。
●移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
●輸送中の破損防止のため、ご購入時の梱包箱と梱包材をご使用ください。

妨害電波・電圧について

本装置はVCCI(情報処理装置等電波障害自主規制協議会)基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
●テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
●テレビ、ラジオから離す。
●テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
●受信機に屋外アンテナを使う。
●平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
●コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、「お客様ご相談窓口(巻末を参照してください)」へご相談ください。
VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

ユーザに対するお知らせ

無線製品の相互運用性

本製品は、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）無線技術を使用するあらゆる無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

■Institute of Electrical and Electronics Engineers(米国電気電子技術者協会)策定のIEEE 802.11 Standard on Wireless LANs(Revision B) (無線LAN標準規格(版数 B))

■WECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）の定義するWireless Fidelity（WiFi）認証

健康への影響

Wireless LAN製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

東芝Wireless LAN製品の動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がWireless LANの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

■飛行機の中でWireless LAN装置を使用する場合

■ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Wireless LAN装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品のインストールと使用に際しては、必ず製品付属のマニュアルに記載されている製造元の指示に従ってください。本装置は、次に示す無線周波基準と安全基準に準拠しています。

■Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device."
L'utilisation de ce dispositif est autorisee seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit etre pret a accepter tout brouillage radioelectrique recu, meme si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.
The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

Approval Number: 1353A-WLL030

To prevent radio interference to the licensed service, this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.
Pour empecher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'object d'une licence, il doit Etre utilise a l'interieur et devrait etre place loin des fenetres afin de fournir un ecran de blindage Maximal. Si le materiel (ou son antenne d'emission) est installe a l'exterieur, il doit faire l'objet D'une license.

■Europe - EU Declaration of Conformity

This device complies with the essential requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC with essential test suites as per standards:
■EN 60950 Safety of Information Technology equipment
■ETS 300 328 Technical requirements for radio equipment
■ETS 300 826 General EMC requirements for radio equipment.

■Belgie/ Belgique:

For outdoor usage only channel 10 (2457 MHz) and 11 (2462 MHz) is allowed. For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. An IBPT/BIPT license is required for public usage outside building.
For registration and license please contact IBPT/BIPT.

Gebruik buiten gebouw alleen op kanalen 10 (2457 MHz) en 11 (2462 MHz).
Voor prive-gebruik buiten gebouw over publieke groud over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor publiek gebruik buiten gebouwen is licentie van BIPT/IBPT verplicht. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.
L'utilisation en exterieur est autorise sur le canal 10 (2457 MHz) et 11 (2462 Mhz).
Dans le cas d'une utilisation privee, a l'exterieur d'un batiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est necessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance superieure a 300m un enregistrement aupres de I'IBPT est requise. Pour une utilisation publique a I'exterieur de batiments, une licence de I'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter I'IBPT.

■Deutschland:

License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.
Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig.
Bitte mit Handler die Vorgehensweise abstimmen.

■France:

Restricted frequency band: only channels 10 and 11 (2457 MHz and 2462 MHz respectively) may be used in France. License required for every installation, indoor and outdoor installations. Please contact ART for procedure to follow.
Bande de frequence restreinte : seuls les canaux 10 a 11 (2457 et 2462 MHz respectivement) doivent etre utilises en France.

Toute utilisation, qu'elle soit interieure ou exterieure, est soumise a autorisation.
Vous pouvez contacter I'Autorite de Regulation des Telecommuniations (http://www.art-telecom.fr) pour la procedure a suivre.

■Italia:

License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed
E'necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno.
Verificare con i rivenditori la procedura da seguire. L'uso per installazione in esterni non e' permessa.

■Nederland:

License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow
Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure

USA-Federal Communications Commission (FCC)

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation of the devices in a Wireless LAN System is subject to the following two conditions:
■This device may not cause harmful interference.
■This device must accept any interference that may cause undesired operation.
TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the TOSHIBA Wireless Routing Center WRC-1000, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.
The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

CAUTION: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The radiated output power of the TOSHIBA Wireless Routing Center WRC-1000 is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the TOSHIBA Wireless Routing Center WRC-1000 shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. When using this device, a certain separation distance between antenna and nearby persons has to be kept to ensure RF exposure compliance. The distance between the antennas and the user should not less than 20cm. Refer to the Regulatory Statements as identified in the documentation that comes with those products for additional information.

本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz〜2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz〜2,470.75MHzと重複しています。

1. ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に同梱されている以下のステッカーを本製品をご使用になるPC本体に貼付ください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3.その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、IOSセンターへお問い合わせください。

2. 現品表示

本製品と梱包箱には、以下に示す現品表示が記載されています。

(1)	(2)	(3)
2.4	DS	4
■	■	■

(4)

(1)2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。

(2)DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示す。

(3)4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。

(4)■■■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

3. 東芝ＰＣ ＩＯＳセンター

受付時間：９：００～１２：００、１３：００～１７：００

（土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く）

ＴＥＬ　：　０４３－２７８－５９７０

ＦＡＸ　：　０４３－２７８－９０３５

機器認定表示について

本製品には、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、以下の技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名：PC24E-11-FC/R

財団法人　電気通信端末機器審査協会

認証番号　D01-1128JP

財団法人　テレコムエンジニアリングセンター

認証番号　01NYDA1121

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分にご注意ください。

規制物資に関する注意

この製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制物資（又は役務）に該当します。
日本国外へ輸出する場合は、同法に基づく輸出許可が必要です。

株式会社 東芝

This product falls under regulated products (or services) provided in the Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law of Japan.

If you would export it from Japan, you would be required to obtain the export license under the law.

TOSHIBA Co., Ltd.

異常や故障の場合

以下のような場合は、ただちにパソコン本体および本装置の電源を切り、専用ACアダプタをACコンセントから抜いて、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談または修理を依頼してください。

・故障
・異常な臭いや過熱・異音
・正しく接続しているにもかかわらず表示されない
・煙が出る

⚠警　告　**ご自分で修理や改造、または分解しないでください。火災や感電、ケガのおそれがあります。**

修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。

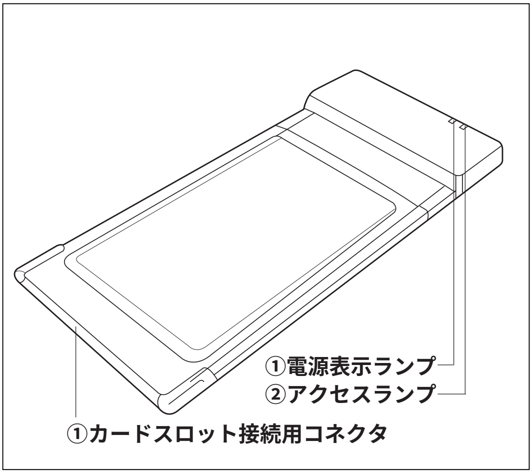
廃棄について

本装置、および付属品の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

4 各部の名称と機能

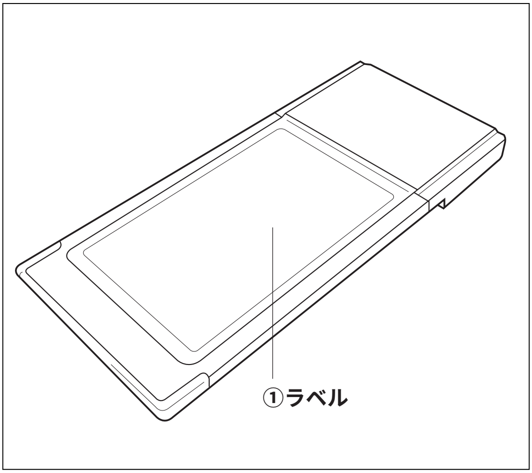
本装置表面

①カードスロット接続用コネクタ
パソコン本体のPCカードスロットに接続します。
②電源表示ランプ
パソコン本体のPCカードのドライバが動作したときに点灯します。
②アクセスランプ
無線LANでデータを送受信しているときに点灯します。



本装置裏面

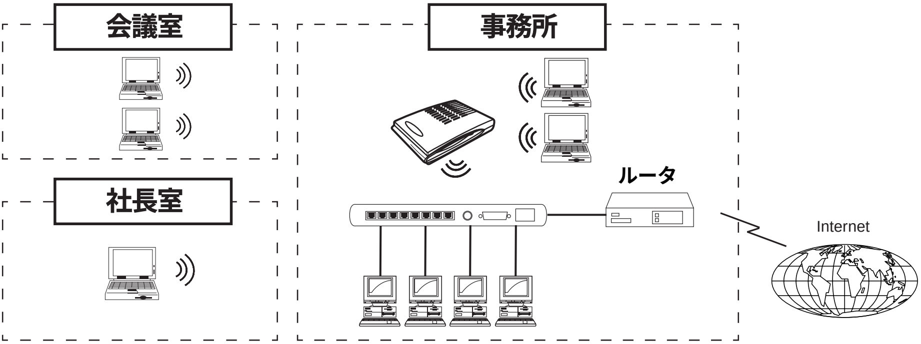
①ラベル
・定格ラベル：
定格の情報や製造元の詳細が記載されています。
・シリアル番号：
サポートを受ける際に必要となります。
・MACアドレス・ラベル
このアドレスを使用して通信を行います。



5 構成図

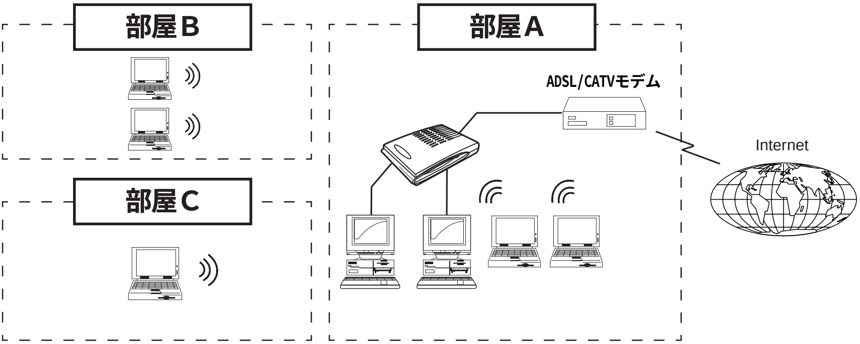
構成例－Infrastructureモード(ブリッジモード)

既存のLAN環境に無線LANと共有させるネットワーク環境を構築することができます。



構成例－ルーターモード

WAN接続、LAN接続、無線LAN環境を混在しないで、それぞれのネットワーク環境を構築することができます。



2章

本PCカードの設定

本製品を使用するまでの設定について説明します。

1 設定の流れ

本製品を使用するまでの設定の流れを説明します。

ネットワークアダプタの設定

本PCカード（IPCN052A）以外のネットワークアダプタを使用不可能に設定します。

⇩

ドライバ／クライアントマネージャのインストール

本PCカードのドライバ、およびクライアントマネージャのインストールを行います。

⇩

クライアントマネージャの設定

本PCカードのクライアントマネージャ（無線通信環境）の設定を行います。

⇩

ネットワークの接続設定

ネットワーク管理者の指示に従って通信プロトコル等の設定作業を行ってください。

2 インストールを始める前に

PCカードスロットの電源供給の確認

PCカードスロットの電源供給のON/OFF設定ができる機種では、電源が供給されるような設定になっていることを確認してください。
多くの機種では、この設定はドライバやパワーセーブ機能の中の項目にあります。
詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

注　意　**PCカードスロットに電源が供給されない状態では、PCカードが全く使用できませんので、ご注意ください。**

パソコン本体の省電力機能が働かないように設定する

パソコン本体では、設定された時間内に何も操作がなかった場合に、自動的に省電力する機能を備えたものがあります。パソコン本体の機種によっては、この機能が働いた場合にPCカードスロットへの電源供給も止める場合があります。このような状態になると、再度PCカードスロットに電源が供給されても正常にドライバのインストールができないことがあります。
このような不具合を回避するために、必ず省電力機能が働かないようにパソコン本体を設定してください。
詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

使用するPCカードスロットのモードを確認

パソコンの機種によっては、PCカードスロットのモードを「CardBus」モードと従来の「PCIC互換」（または「PCIC Compatible」）モードに設定できる機種があります。設定可能なパソコンをご使用の場合は以下を参照してください。
本PCカードの場合、PCカードスロットのモードを「PCIC互換」（または「PCIC Compatible」）モードに設定されていることを確認してください。
設定方法の詳細については各パソコンの取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

本ドライバCDのインストールについて

本ドライバCDは本PCカードのドライバ、およびクライアントマネージャを同時にインストールすることができます。
ただし、ご使用のOSによりインストール方法が異なります。

●Webブラウザの確認

お使いのパソコン本体のWebブラウザ（インターネットエクスプローラなど）は最新バージョンがインストールされていることを確認してください。

各OSごとのインストール手順

●Windows XP/2000、Windows Me/98で使用する場合

本ドライバCDをCD-ROMドライブに挿入し、画面ウィザードの指示に従って操作してください（CD-ROMドライブに挿入しても自動起動しない場合はD:¥EZSETUP.EXEを実行）。操作終了後、本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入してください。
もし、本PCカードを先にセットした場合、[新しいハードウェアの追加]画面ウィザードが表示されますが、「キャンセル」ボタンをクリックして終了し、本PCカードを取りはずしてください。

①パソコン本体の起動

↓ 起動後

②本ドライバCDのCD-ROMドライブへの挿入

↓ 本ドライバCDインストール後

③本PCカードのパソコン本体のPCカードスロットへの挿入

●Windows NT4.0で使用する場合

サービスパック、リソース、Webブラウザの確認を行なってから「ネットワーク」-「アダプタ」からのドライバのインストール、サービスパックの再インストールを行ない、電源をOFFにします。
電源OFFの状態で本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入し、電源ON後にクライアントマネージャのインストールの操作をしてください。

①パソコン本体の起動

↓ 起動後

②サービスパック、リソースの確認、Webブラウザの確認

↓ システムの確認

③本ドライバCDのCD-ROMドライブへの挿入→CDウィザードの終了

↓ 「ネットワーク」→「アダプタ」からのドライバインストール

④電源OFF→本PCカードのパソコン本体のPCカードスロットへの挿入→電源ON

クライアントマネージャのインストール

3 ネットワークアダプタの設定

本PCカード以外のネットワークアダプタが内蔵されているパソコンをご使用の場合、他のネットワークアダプタを使用不可にしないと正常に動作しない場合があります。本PCカードをインストールする前に以下の手順を行い、ネットワークアダプタを使用不可にしてください。
以下の説明は、Windows98を例としています。

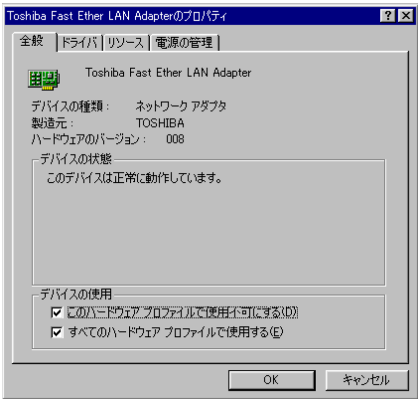
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、内蔵されているネットワークカードを「ネットワークアダプタ」欄より選択し、「プロパティ」をクリックする

右の画面が表示されます。



4 「全般」タブの中の「デバイスの使用」で「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを入れ[OK]をクリックする

[システムのプロパティ]画面の使用を不可にしたアダプターに赤い×印が付きます。

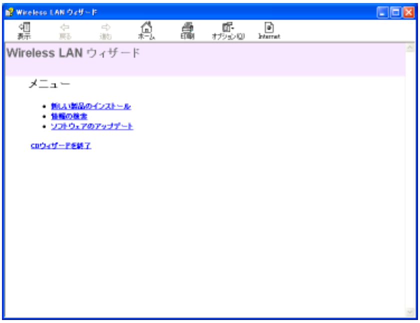
4 ドライバ/クライアントマネージャのインストール

Windows XPでのインストール

ドライバ、およびクライアントマネージャのインストールを行います。

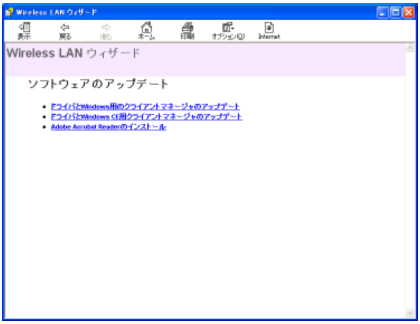
1 Windows XPを起動し、本ドライバCDをCD-ROMドライブに挿入する

[Wireless LANウィザード]画面が表示されます。



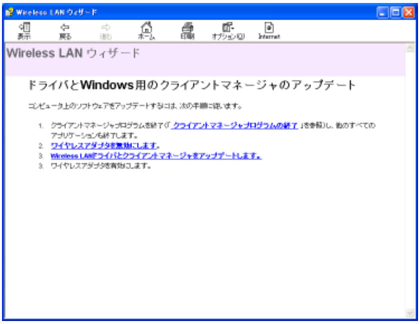
2 メニュー欄の「ソフトウェアのアップデート」をクリックする

ソフトウェアのアップデートの画面が表示されます。



3 「ドライバとWindows用のクライアントマネージャのアップデート」をクリックする

ドライバとWindows用のクライアントマネージャのアップデートの画面が表示されます。



4 「WirelessLANドライバとクライアントマネージャをアップデートします。」をクリックする

タスクバー右側にクライアントマネージャのアイコン（ ）が表示されていれば完了です。

5 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

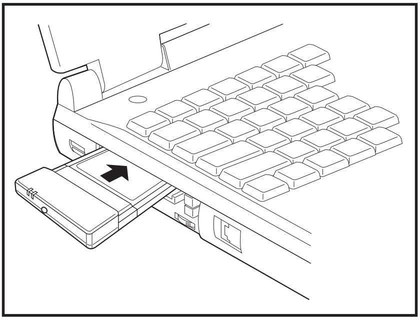
ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

6 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。

挿入後、自動的に設定されます。



図は一例です。

7 本ドライバCDをCD-ROMドライブより取りはずす

インストールは終了です。

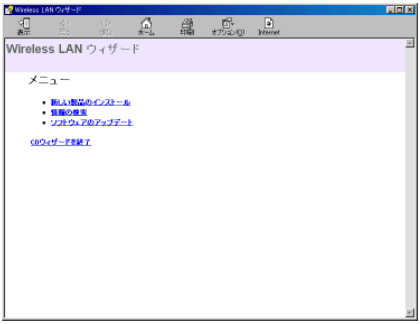
Windows 2000、Windows Me/98でのインストール

ドライバ、およびクライアントマネージャのインストールを行います。

1 Windows 2000、Windows Me/98を起動し、本ドライバCDをCD-ROMドライブに挿入する

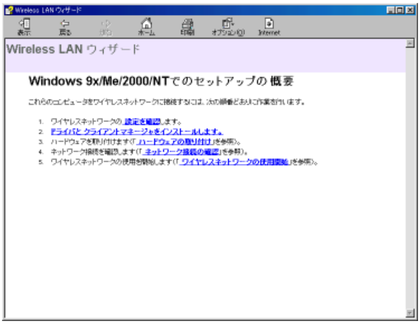
HTMLのヘルプメッセージ画面が表示された場合は、「はい」→「OK」ボタンの順にクリックしてください。

[Wireless LANウィザード]画面が表示されます。



2 メニュー欄の「新しい製品のインストール」をクリックする

セットアップの概要の画面が表示されます。



3 「2.ドライバとクライアントマネージャをインストールします。」をクリックする

インストールを開始します。

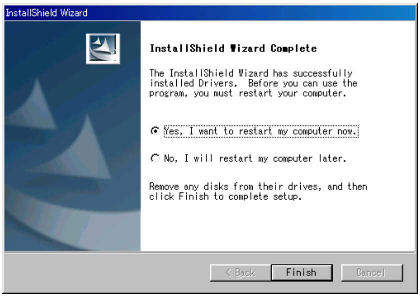
Windows Me/98の場合、タスクバー右側にクライアントマネージャのアイコン（　）が表示されていれば完了です。

Windows 2000の場合、タスクバー右側にクライアントマネージャのアイコン（　）が表示されていれば完了です。

以降、Windows 98は手順4へ、Windows 2000、Meの場合は手順5へ進んでください。

4 しばらくすると設定完了の画面が表示されますので、「Finish」をクリックする

システムが再起動します。



※上記の画面が[Wireless LANウィザード]画面の下に隠れている場合、タスクバーの「InstallShield Wizard」ボタンをクリックしてください。

5 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

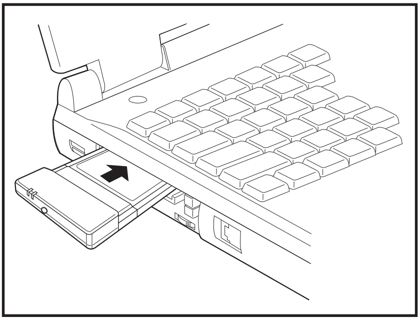
ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

6 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。

挿入後、自動的に設定されます。



図は一例です。

7 本ドライバCDをCD-ROMドライブより取りはずす

インストールは終了です。

Windows NT4.0でのインストール

ドライバ、およびクライアントマネージャのインストールを行います。

注　意

- **ログオンする際は、必ずAdministratorまたはAdministratorsグループのユーザー名でログオンしてください。**
- **WindowsNT4.0では、Windowsを立ち上げた状態でLANカードの抜き差しを行うことはできません。抜き差しを行う際には必ずWindowsを終了させてから行ってください。**

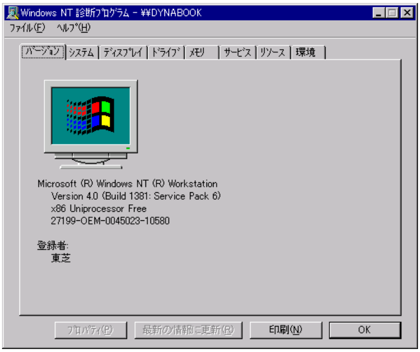
サービスパック、リソースの確認

ドライバのインストールをする前に、以下の点を確認してください。

1 [スタート]-[プログラム]-[管理ツール]の順に選択し、[Windows NT診断プログラム]を選択する

「バージョン」タブにサービスパックが表示されます。

「Service　Pack」が最新であることを確認してください。



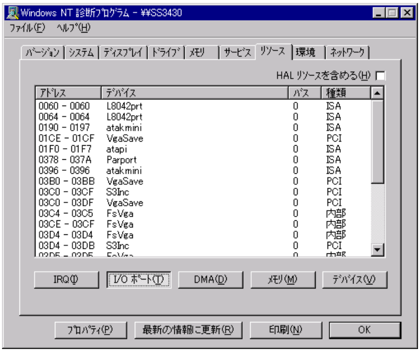
2 「リソース」タブをクリックし、[IRQ]をクリックする

「IRQ」の欄を見て、IRQの空き状況を確認します。

本PCカードの工場出荷時でのIRQは「10」です。

3 「I/Oポート」をクリックする

「アドレス」の欄を見てアドレスの空き状況を確認します。
「IRQ」と「アドレス」の空き情報はドライバのインストールの際に必要な情報となるため、メモを残しておくなどして忘れないようにしてください。
本PCカードの工場出荷時でのI/Oポートは「400」です。



4 「OK」をクリックし、「Windows NT診断プログラム」を閉じる

Webブラウザの確認

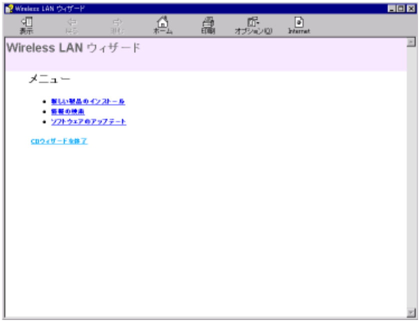
お使いのパソコン本体のWebブラウザ（インターネットエクスプローラなど）は最新バージョンがインストールされていることを確認してください。

ドライバのインストール

1 Windows NT4.0を起動し、本ドライバCDをCD-ROMドライブに挿入する

HTMLのヘルプメッセージ画面が表示された場合は、「はい」→「OK」ボタンの順にクリックしてください。

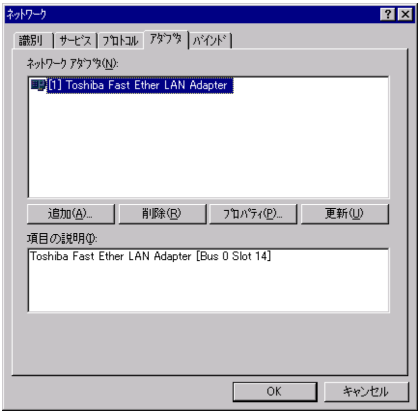
[Wireless LANウィザード]画面が表示されます。



2 メニュー欄の「CDウィザードを終了」をクリックする

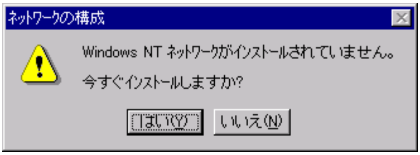
3 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]の順に選択し、[ネットワーク]を選択する

[ネットワーク]画面が表示されます。

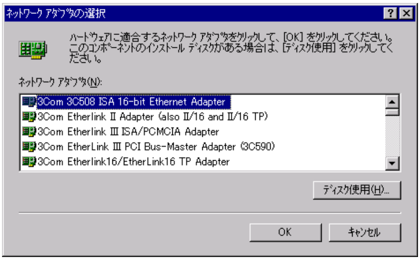


4 「アダプタ」タブをクリックし、[追加]をクリックする

お使いのパソコンにネットワークアダプタが設定されていない場合は、右の[ネットワークの構成]画面が表示されることがあります。この場合は、ネットワーク管理者、および画面の指示に従って操作してください。

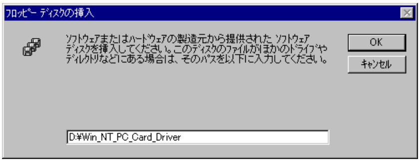


[ネットワークアダプタの選択]画面が表示されます。



5 「ディスク使用」をクリックする

[フロッピーディスクの挿入]画面が表示されます。

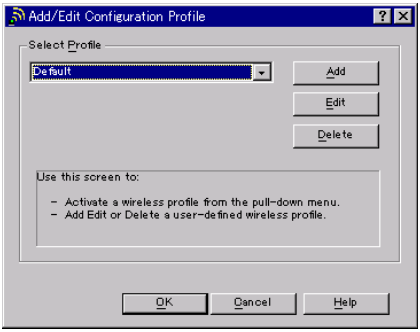


6 本ドライバCDがCD-ROMドライブにセットされていることを確認し、パス入力の欄に、「D:\Win_NT_PC_Card_Driver」と入力して「OK」をクリックする

「OEMオプションの選択」画面が表示されます。

7 「Wireless PC Card」を選択し、「OK」をクリックする

[Add/Edit Configuration Profile]画面が表示されます。
クライアントマネージャの設定を行いますので、「4クライアントマネージャの設定 Windows NT4.0の場合」の手順3より参照し、操作してください。
[ネットワーク]画面に戻ります。



8 [ネットワーク]画面の「ネットワークアダプタ」欄で本PCカードのドライバが組み込まれていることを確認し、「閉じる」をクリックする

お使いのパソコン本体にTCP/IPプロトコルを組み込んでいない場合は、以下の操作をしてください。
組み込んでいる場合は、手順１０へ進んでください。

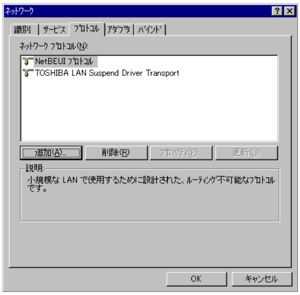
①**[ネットワーク設定の変更]画面が表示されますので「はい」をクリックする**
再起動します。

②**「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」の順に選択する**
[ネットワーク]画面が表示されます。

③**「プロトコル」タブをクリックする**

④**「追加」をクリックして「TCP/IPプロトコル」を選択して「OK」をクリックする**
DHCPを使用するか確認する画面が表示されるのでネットワーク管理者に確認してください。

⑤**[ネットワーク]の「閉じる」をクリックすると再起動するメッセージが表示されるので「はい」をクリックする。**



[Microsoft TCP/IPのプロパティ]画面が表示されます。
表示されない場合は、「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の「ネットワーク」を選択し、「プロトコル」－「TCP/IPプロトコル」の「プロパティ」をクリックしてください。

9 アダプタの欄に、「Wireless PC Card」を表示させる

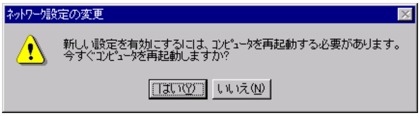
10 ここでは「IPアドレスを指定する」にチェックを入れ、使用しているネットワークアドレスを入力する

DHCPサーバからIPアドレスを取得するか、指定するかについてはネットワーク管理者に確認してください。

11 「OK」をクリックする

12 ネットワークのプロパティの「閉じる」をクリックする

[ネットワーク設定の変更]画面が表示されます。



13 「いいえ」をクリックする

14 本ドライバCDをCD-ROMドライブより取り出す

15 サービスパックを再インストールする

お使いのパソコン本体の「Service Pack」を再インストールしてください。

16 再起動するメッセージが表示されたらサービスパックのCD-ROMをCD-ROMドライブより取り出し、「再起動」をクリックする

再起動します。

17 パソコン本体をシャットダウンする

⚠注　意

サービスパックを再インストールしないで再起動すると、「メモリ不足でサーバーサービスが起動できません」というエラーメッセージがイベントビューワに記録されます。この場合、本PCカードが正常に動作しない可能性があります。

再起動後、「Wireless PC Card,OEMネットワークPCカードデバイス挿入したカードは設定されていません。」のようなメッセージ画面が表示されることがあります。
この場合、ドライバがインストールまたは、設定されていない可能性がありますので、「修正」をクリックしてください。
「修正」をクリックすると、システムのドライバが必要となる場合がありますのでWindows NT4.0のセットアップディスクあるいは製造元が配布するインストールディスクを用意のうえ、画面の指示に従い、操作してください。

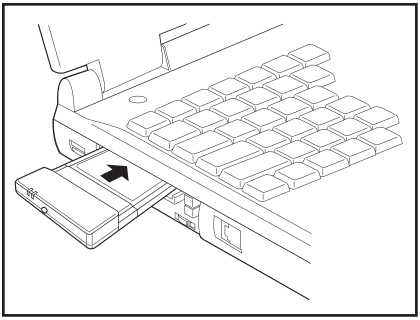
18 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

19 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



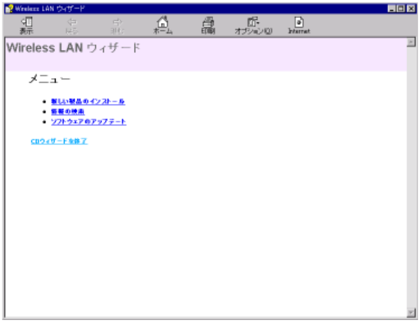
図は一例です。

クライアントマネージャのインストール

1 本ドライバCDをCD-ROMドライブに挿入する

[Wireless LANウィザード]画面が表示されます。

2 メニュー欄の「CDウィザードを終了」をクリックする



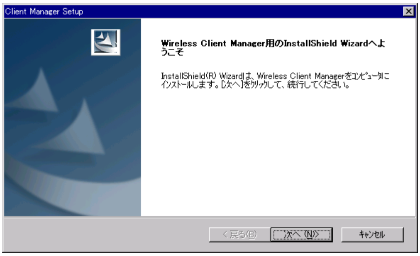
3 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする

[ファイル名を指定して実行]画面が表示されます。

4 名前欄に「D:\software\cl_mgr\Setup.exe」と入力し、「OK」をクリックする

[Client Manager Setup]画面が表示されます。

5 「次へ」をクリックする



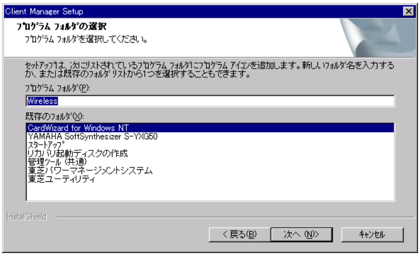
[使用許諾契約]画面が表示されます。

6 「はい」をクリックする

[インストール先の選択]画面が表示されます。

7 「次へ」をクリックする

[プログラムフォルダの選択]画面が表示されます。

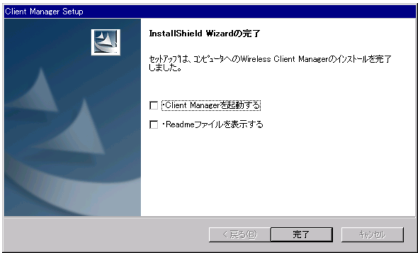


8 プログラムフォルダが「Wireless」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

[言語の選択]画面が表示されます。

9 「Japanese」を選択し、「次へ」をクリックする

[InstallShield Wizardの完了]画面が表示されます。



10 「完了」をクリックする

11 本ドライバCDをCD-ROMドライブより取り出し、システムを再起動させる

インストールは終了です。

インストール後のドライバの確認

以下の手順に従って、ドライバのインストールが正しく行なわれていること、また正常に動作していることを確認します。

Windows XPの場合

1 「スタート」-「コントロールパネル」を選択する

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする

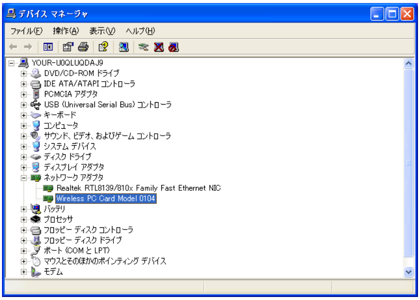
[パフォーマンスとメンテナンス]画面が表示されます。

3 「システム」をクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

4 「ハードウェア」タブの中の、「デバイスマネージャ」をクリックする

[デバイスマネージャ]画面が表示されます。



5 「ネットワークアダプタ」の中の「Wireless PC Card Model 0104」をダブルクリックする

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

6 「OK」をクリックしてこの画面を閉じる

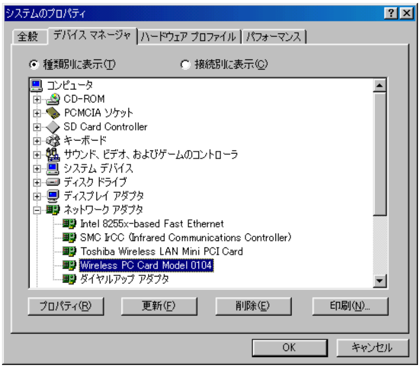
「デバイスマネージャ」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。「3章 1トラブルシューティング」を参照して、再度インストールしてください。

Windows Me/98の場合

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。



3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」の中の「Wireless PC Card Model 0104」を選択し、「プロパティ」をクリックする

[全般]タブの[デバイス状態]の欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されます。

4 「OK」をクリックしてこの画面を閉じる

「デバイスマネージャ」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。「3章 1トラブルシューティング」を参照して、再度インストールしてください。

Windows 2000の場合

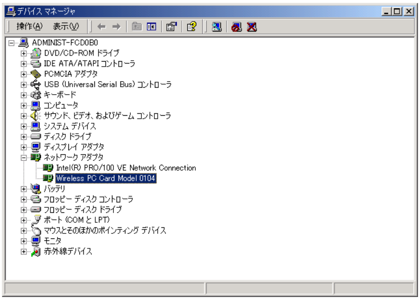
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

3 「ハードウェア」タブの中の、「デバイスマネージャ」をクリックする

[デバイスマネージャ]画面が表示されます。



4 「ネットワークアダプタ」の中の「Wireless PC Card Model 0104」をダブルクリックする

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

5 「OK」をクリックしてこの画面を閉じる

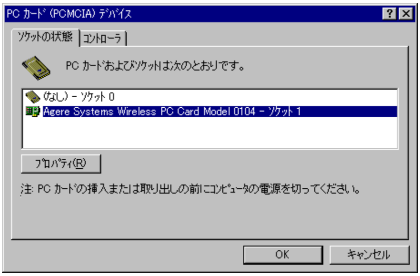
「デバイスマネージャ」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。「3章　1トラブルシューティング」を参照して、再度インストールしてください。

Windows NT4.0の場合

1 **「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する**

2 **「PCカード(PCMCIA)」をクリックする**

「PCカード(PCMCIA)デバイス」が表示されます。



3 **「Agere Systems Wireless PC Card Model 0104-ソケット1」を選択し、[プロパティ]をクリックする**

「デバイスは正常に動作しています。」と表示されます。

「PCカード(PCMCIA)のデバイス」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。「3章　1トラブルシューティング」を参照して、再度インストールしてください。

5 クライアントマネージャの設定

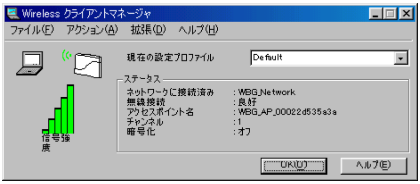
Windows Me/98/2000の場合

このクライアントマネージャをインストールすることによって本製品の設定を簡単に行うことができます。

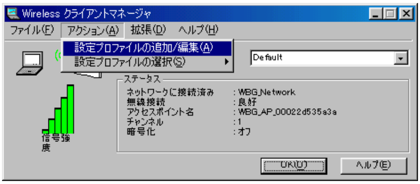
設定プロファイルの追加

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

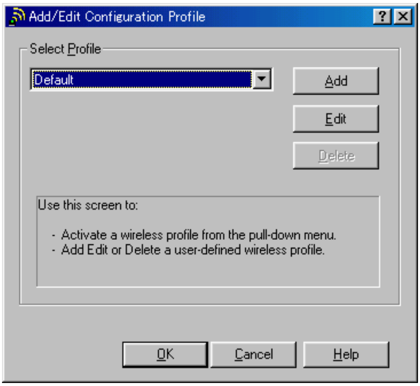


2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

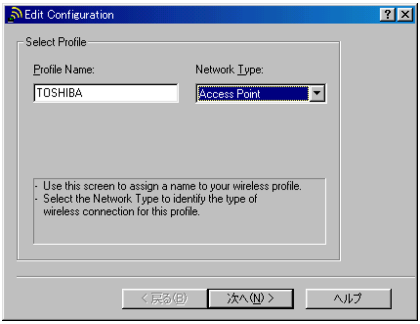


右の画面が表示されます。

3 「Add」ボタンをクリックする



右の画面が表示されます。



4 プロファイル名、ネットワークタイプを指定する

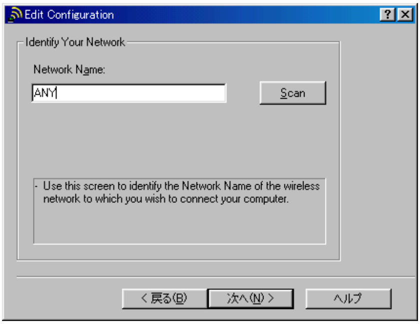
●プロファイル名：
ここでは、「TOSHIBA」と入力します。

●ネットワークタイプ：
ここでは、「Access Point」を選択します。

各ネットワークタイプの機能については、クライアントマネージャのヘルプを参照してください。
なお、ヘルプの起動は、「ヘルプ」→「目次」の順にクリックします。
⇒「クライアントマネージャのヘルプ」

5 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



6 ネットワーク名を指定する

ここでは「ANY」と入力します。
アクセスポイントを指定したい場合は、以下の操作をしてください。

※ネットワーク名はSSIDまたはESSIDと同義です。固有のSSIDを指定する場合はそのSSIDを入力します。

①「Scan」をクリックする

[ネットワーク名のスキャン]画面が表示されます。

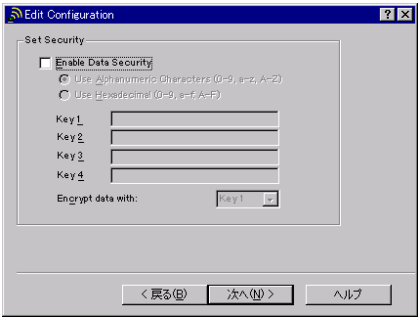
②アクセスしたいネットワーク名を選択し、「OK」をクリックする

ここでは「WRC_Network」を選択します。
アクセスポイントがない場合は「キャンセル」をクリックしてください。

7 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。
WEPキーによる暗号の設定を行います。WEPキーはユーザによって定義されたキー文字列（半角英数文字列で最大32文字まで）によって生成されます。

WEPキー長	形式	文字数
64ビット	ASCII文字	5
	16進数	10
128ビット	ASCII文字	13
	16進数	26

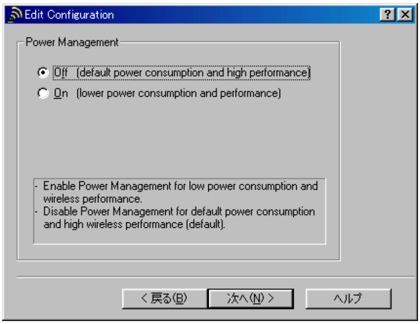


⚠注　意

- **設定は、ネットワーク管理者の指示に従って作業を行ってください。**
- **暗号を使用することによって、通信速度が低下します。**
- **暗号を使用して通信を行うには、同じ通信を行うすべてのパソコンとアクセスポイントに同じ暗号を設定します。**

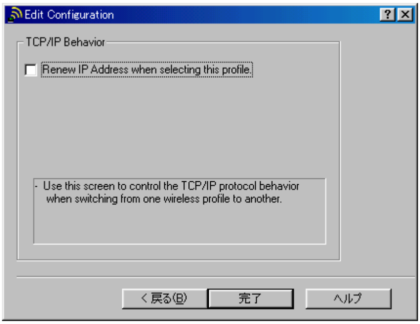
8 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



9 「off」側になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。

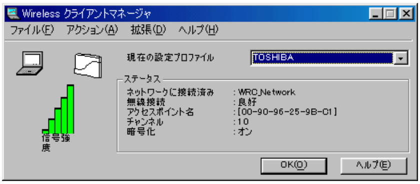


10 「完了」をクリックする

[Add/Edit Configuration Profile]画面に戻ります。

11 「OK」をクリックする

[wireless クライアントマネージャ]画面が右のようになっていることを確認してください。



12 「OK」をクリックする

タスクバー右側に信号強度（通信状態）（ ）が表示されます。

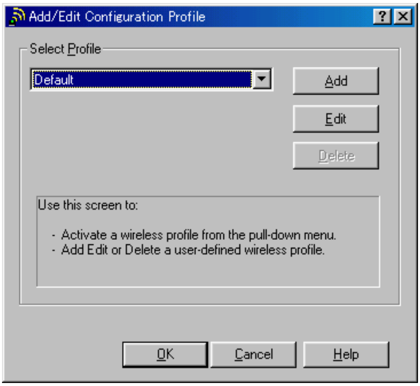
設定プロファイルの編集

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

右の画面が表示されます。



3 修正したいプロファイル名を選択し、「Edit」ボタンをクリックする

以降、画面の指示に従い、プロファイル名、ネットワークタイプ、ネットワーク名、WEPキーの順に修正してください。

設定プロファイルの削除

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

3 削除したいプロファイル名を選択し、「Delete」ボタンをクリックする

4 メッセージが表示されますので「はい」ボタンをクリックする

選択した設定プロファイルが削除されます。

Windows XPの場合

このクライアントマネージャをインストールすることによって本製品の設定を簡単に行うことができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

※Windows XPの場合、「アクション」の「設定プロファイルの選択」が表示されていません。

以降はWindows XPのマニュアルを参照し、操作してください。

⇒『Windows XPのマニュアル』

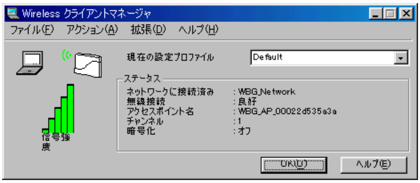
Windows NT4.0の場合

このクライアントマネージャをインストールすることによって本製品の設定を簡単に行うことができます。

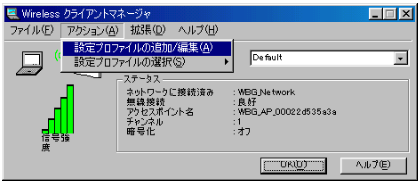
設定プロファイルの追加

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

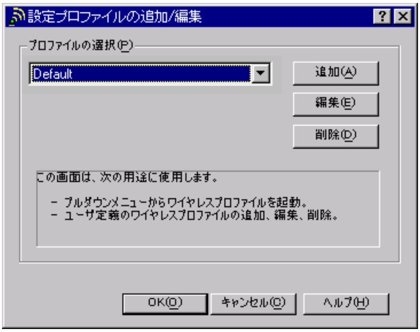


2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

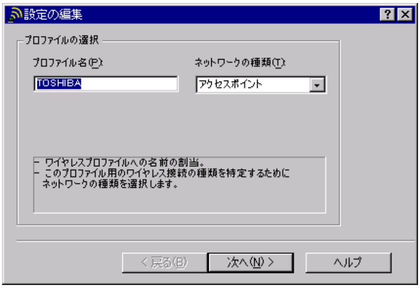


右の画面が表示されます。

3 「追加」ボタンをクリックする



右の画面が表示されます。



4 プロファイル名、ネットワークタイプを指定する

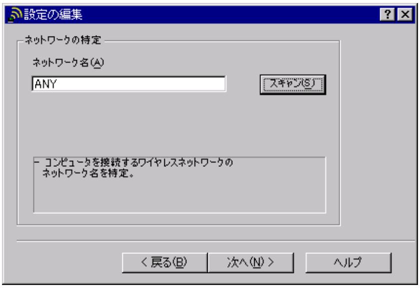
●プロファイル名：
　ここでは、「TOSHIBA」と入力します。

●ネットワークタイプ：
　ここでは、「アクセスポイント」を選択します。

各ネットワークタイプの機能については、クライアントマネージャのヘルプを参照してください。
なお、ヘルプの起動は、「ヘルプ」→「目次」の順にクリックします。
⇒「クライアントマネージャのヘルプ」

5 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



6 ネットワーク名を指定する

ここでは「ANY」と入力します。
アクセスポイントを指定したい場合は、以下の操作をしてください。

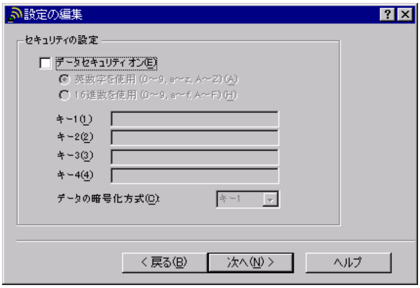
※ネットワーク名はSSIDまたはESSIDと同義です。固有のSSIDを指定する場合はそのSSIDを入力します。

①「Scan」をクリックする
　[ネットワーク名のスキャン]画面が表示されます。

②アクセスしたいネットワーク名を選択し、「OK」をクリックする
　ここでは「WRC_Network」を選択します。
　アクセスポイントがない場合は「キャンセル」をクリックしてください。

7 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。
WEPキーによる暗号の設定を行います。WEPキーはユーザによって定義されたキー文字列（半角英数文字列で最大32文字まで）によって生成されます。



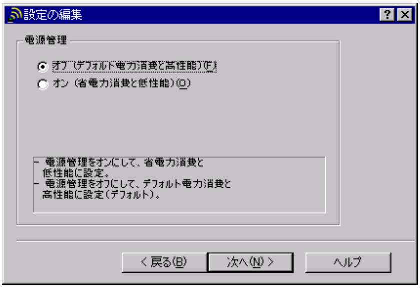
WEPキー長	形式	文字数
64ビット	ASCII文字	5
	16進数	10
128ビット	ASCII文字	13
	16進数	26

⚠注　意

- **設定は、ネットワーク管理者の指示に従って作業を行ってください。**
- **暗号を使用することによって、通信速度が低下します。**
- **暗号を使用して通信を行うには、同じ通信を行うすべてのパソコンとアクセスポイントに同じ暗号を設定します。**

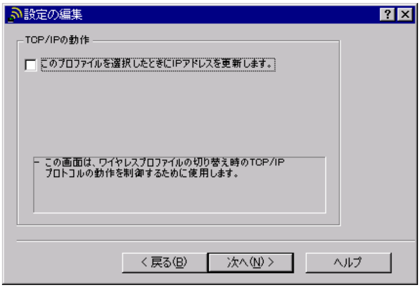
8 「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



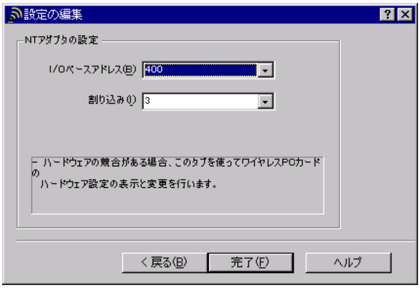
9 「off」側になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



10 「次へ」をクリックする

[NTアダプタの設定]画面が表示されます。



11 I/Oベースアドレスと割り込み（IRQ）を指定する

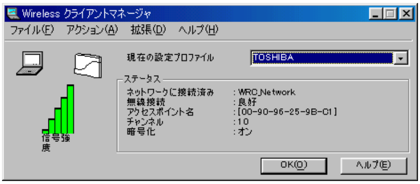
インストール前に確認した「アドレス」と「IRQ」の値が重なっていないか確認してください。

12 「完了」をクリックする

[Add/Edit Configuration Profile]画面に戻ります。

13 「OK」をクリックする

[wireless クライアントマネージャ]画面が右のようになっていることを確認してください。



13 「OK」をクリックする

タスクバー右側に信号強度（通信状態）「 」が表示されます。

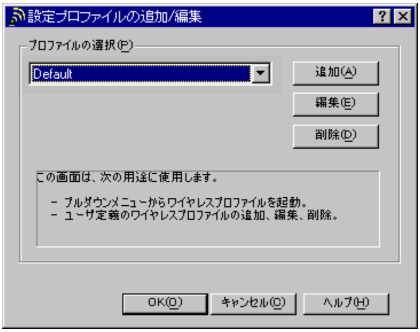
設定プロファイルの編集

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

2 「アクション」の「設定プロファイルの追加／編集」をクリックする

右の画面が表示されます。



3 修正したいプロファイル名を選択し、「編集」ボタンをクリックする

以降、画面の指示に従い、プロファイル名、ネットワークタイプ、ネットワーク名、WEPキーの順に修正してください。

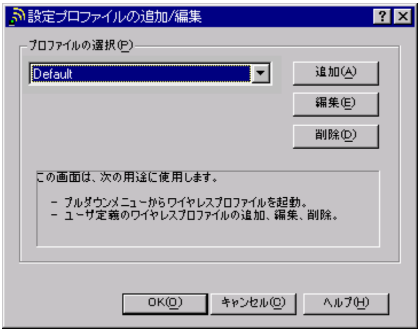
設定プロファイルの削除

1 「スタート」-「プログラム」-「wireless」-「client Manager」を選択する

[wireless クライアントマネージャ]画面が表示されます。

2 「アクション」の「設定プロファイルの追加/編集」をクリックする

右の画面が表示されます。



3 削除したいプロファイル名を選択し、「削除」ボタンをクリックする

4 メッセージが表示されますので「はい」ボタンをクリックする

選択した設定プロファイルが削除されます。

6 ネットワークの接続設定

ご使用のネットワーク環境においての各種ネットワークの設定方法については、ネットワーク管理者の指示に従って作業を行ってください。

設定内容（Windows 98を例として）

- ●「NetBEUI」、「Microsoftネットワーククライアント」の確認
- ●「Microsoftネットワーク共有サービス」の追加
- ●コンピュータ名・ワークグループの確認
- ●「NetBEUI」が表示されていないときは
- ●「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていないときは

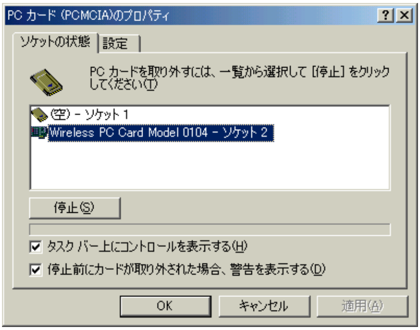
7 本PCカードの取りはずし

Windows動作中に本PCカードを取りはずす場合は以下の手順に従ってください。

Windows Me/98の場合

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンをクリックする

[PCカード（PCMCIA）のプロパティ]画面が表示されます。



2 「Wireless PC Card Model 0104」を選択し、[停止]をクリックする

しばらくして、「このデバイスは安全に取り外せます。」と表示されます。

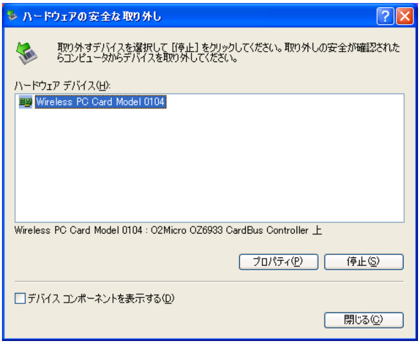
3 「OK」をクリックする

4 本PCカードを取りはずす

Windows XPの場合

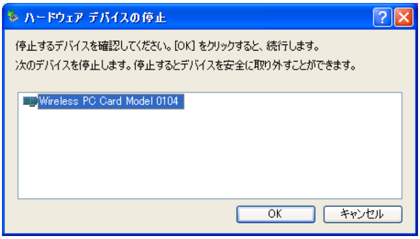
1 **デスクトップ画面右下にある（ ）アイコンをダブルクリックする**

［ハードウェアの安全な取り外し］画面が表示されます。



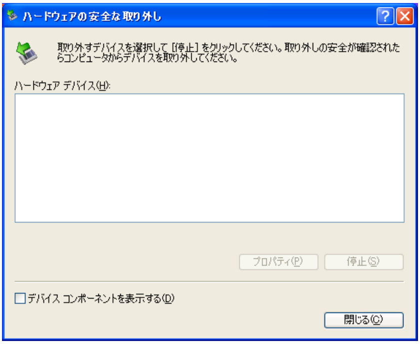
2 **「Wireless PC Card Model 0104」を選択し、「停止」をクリックする**

［ハードウェアデバイスの停止］画面が表示されます。



3 **「OK」をクリックする**

［ハードウェアの安全な取り外し］画面が表示されます。



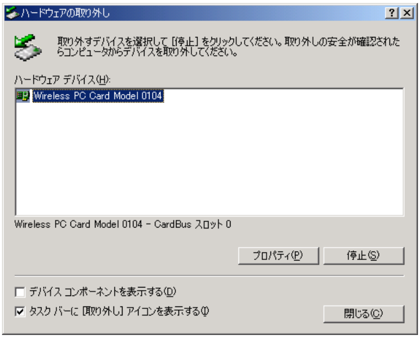
4 **「閉じる」をクリックする**

5 **本PCカードを取りはずす**

Windows 2000の場合

1 デスクトップ画面右下にある（ ）アイコンをダブルクリックする

[ハードウェアの取り外し]画面が表示されます。



2 「Wireless PC Card Model 0104」を選択し、「停止」をクリックする

[ハードウェアデバイスの停止]画面が表示されます。

3 「OK」をクリックする

しばらくして、「'Wireless PC Card Model 0104'は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

4 「OK」をクリックする

5 本PCカードを取りはずす

Windows NT4.0の場合

Windows NT4.0では、Windows起動状態で、本PCカードの取りはずしはできません。
Windowsを終了させてから、本PCカードを取りはずしてください。

8 クライアントマネージャのアンインストール

クライアントマネージャを削除します。

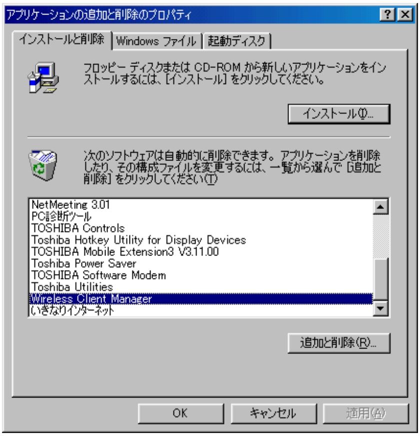
Windows Me/98の場合

1 本PCカードがパソコン本体のPCカードスロットに接続されていることを確認する

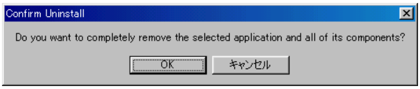
2 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「アプリケーションの追加と削除」を選択する

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されます。

3 「Wireless Client Manager」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする



右のメッセージが表示されます。



4 「OK」をクリックする

アンインストールを開始し、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面に戻ります。

5 「Wireless Client Manager」が表示されていないことを確認し、「OK」をクリックする

Windows 2000の場合

1 本PCカードがパソコン本体のPCカードスロットに接続されていることを確認する

2 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「アプリケーションの追加と削除」を選択する

[アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

3 「Wireless Client Manager」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックする

右のメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリックする

アンインストールを開始し、[アプリケーションの追加と削除]画面に戻ります。

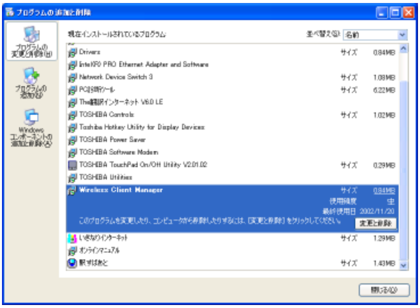
5 「Wireless Client Manager」が表示されていないことを確認し、「☒」をクリックする

Windows XPの場合

1 本PCカードがパソコン本体のPCカードスロットに接続されていることを確認する

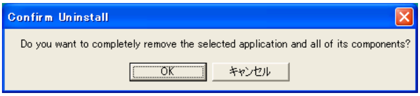
2 「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、「プログラムの追加と削除」を選択する

[プログラムの追加と削除]画面が表示されます。



3 「Wireless Client Manager」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックする

右のメッセージが表示されます。



4 「OK」をクリックする

アンインストールを開始し、[プログラムの追加と削除]画面に戻ります。

5 「Wireless Client Manager」が表示されていないことを確認し、「閉じる」をクリックする

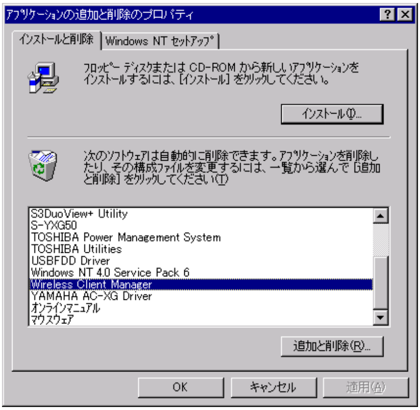
Windows NT4.0の場合

クライアントマネージャのアンインストール

1 **本PCカードがパソコン本体のPCカードスロットに接続されていることを確認する**

2 **「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「アプリケーションの追加と削除」を選択する**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されます。



3 **「Wireless Client Manager」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする**

右のメッセージが表示されます。

4 **「OK」をクリックする**

アンインストールを開始し、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面に戻ります。

5 **「Wireless Client Manager」が表示されていないことを確認し、「OK」をクリックする**

3章

故障かな？と思ったら

「カードがパソコンに認識されない……」などの困ったときの対処方法や本PCカードの仕様について説明しています。

1 トラブルシューティング

本PCカードが正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時は、ここをお読みになり役立ててください。それでもなお解決できない場合は、「5章　修理サービスのご案内 1ユーザサポート窓口のご案内」をご覧のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。
トラブルの原因には、本PCカードに関するハードウェア的な問題だけではないことがあります。問題が発生したときは、同時にご使用になるパソコン本体、他の周辺機器の取扱説明書もご参照ください。
また、オペレーティングシステム、デバイスドライバ、フォーマットソフトなどのソフトウェアが原因の場合もありますので、それらの取扱説明書もご参照ください。

Q1：カードがパソコンに認識されない。

■カードがパソコンのPCカードスロットに正しく奥まで差し込まれていますか？
・カードの差し込み方向などを確認して再度差し込んでください。
■パソコンのPCカードスロットが故障していませんか？
・PCカードスロットが2つあるパソコンをご使用の場合は、もう一方に差し込んでください。
・他のPCカードをお持ちの場合は、そのPCカードが認識されるか確認してください。

Q2：デバイスマネージャの画面で「！」や「×」マークがつく（正しく認識されない）。

■ドライバのインストールは正しく行なわれましたか？
・デバイスマネージャ上の「！」や「×」がついている「Wireless PC Card Model 0104」アダプタを削除し、再度インストールしてください。
■デバイスが「使用不可にする」に設定されていませんか？
・以下のように設定してください。
①デバイスマネージャ上の「ネットワーク　アダプタ」の「Wireless PC Card Model 0104」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
②「デバイスの使用」の「このハードウェア　プロファイルで使用不可にする」のチェックを取り[OK]をクリックします。

■本PCカード以外のネットワークアダプタがインストールされていませんか？

・本PCカード以外のネットワークアダプタが内蔵されているパソコンをご使用の場合、正常に動作しません。本PCカードをインストールする前に以下の手順を行い、ネットワークアダプタを使用不可にしてください。
以下の説明は、Windows98を例としています。

①「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

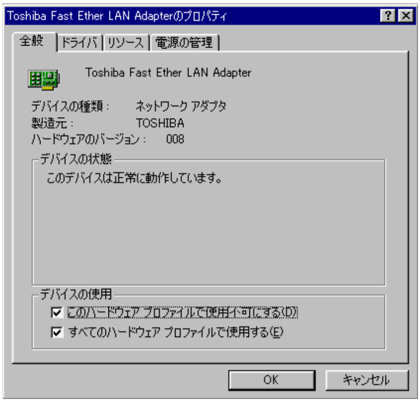
②「システム」をダブルクリックする
[システムのプロパティ]画面が表示されます。

③「デバイスマネージャ」タブをクリックし、内蔵されているネットワークカードを「ネットワークアダプタ」欄より選択し、「プロパティ」をクリックする

右の画面が表示されます。

④「全般」タブの中の「デバイスの使用」で「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを入れ[OK]をクリックする
[システムのプロパティ]画面の使用を不可にしたアダプターに赤い×印が付きます。

⑤「OK」をクリックする



Ｑ３：無線LANパソコン同士で通信できない。

■ドライバのインストールは正しく行われましたか？

・ドライバが正しくインストールされているか確認してください。

■SSIDの設定は正しく行われていますか？

・通信しようとしているパソコンすべてに同じSSIDを設定してください。

■ネットワークの設定は正しく行われていますか？

・ネットワーク管理者の指示に従ってください。

■Windows98を起動したときに、パスワードを正しく入力しましたか？

・パソコンを再起動して、ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。

Ｑ４：アイコンが赤色で通信ができない。

■ユーティリティの設定は正しく行われていますか？

・「２章 5クライアントマネージャの設定」を参照してください。

4章

付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

1 製品仕様

外形寸法

形状	PC Card Type-Ⅱ Extended		
外形寸法	117.8(長)×53.95(幅)×8.7(高さ)mm		
重量	45g（PCカード本体）		
温度と湿度	動作時	0℃～55℃	20%～80%（結露なきこと）
	保管時	-10℃～60℃	10%～90%（結露なきこと）

消費電力

省電力モード	15mA
受信モード	240mA
送信モード	330mA
供給電圧	5V

ネットワーク特性

互換性	IEEE 802.11 標準無線LAN（DSSS）	
	Wireless Ethernet Compatibility Alliance（WECA）の認定を受けたWiFi（Wireless Fiderity）特性	
対応OS	Windows® 98 Second Edition	
	Windows® Millennium Edition	
	Windows® NT 4.0 Workstation	
	Windows® 2000	
	Windows® XP	
メディア・アクセス・プロトコル	CSMA/CA（衝突防止）肯定応答（ACK）使用	
データ転送速度	高	11Mb/s
	中	5.5Mb/s
	標準	2Mb/s
	低	1Mb/s
	自動伝送速度選択機能を搭載	

本PCカードの無線特性

無線周波数帯	2.4GHz（2400〜2500MHz）
チャンネル	1〜11チャンネル
変調方式	Direct Sequence Spread Spectrum（直接スペクトラム拡散方式）
	CCKー高速および中速の伝送速度
	DQPSKー標準伝送速度
	DBPSKー低速の伝送速度
拡散方式	11チップ・バーカー・シーケンス
ビット・エラー率（BER）	10^{-5}以下
公称無線出力	15dBm

●無線デバイスの信号到達距離は、アンテナの近くに金属面や高密度の物質が存在すると影響を受けます。
●また、無線信号を吸収あるいは反射する「障害物」が無線信号の経路にある場合も影響を受けます。

2 用語解説

チャンネル

無線LANで使用できる帯域を11または14分割します。その1つ1つをチャンネルといいます。

SSID (Service Set Identifier)

SSIDとは、無線LAN上で特定の相手と接続するための識別コードです。アクセスポイントを使用して通信を行なう場合は、アクセスポイントと同じSSIDを無線LANパソコン側に設定してください。SSIDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力することができます。ESSIDと同義です。

暗号化(WEP：Wired Equivalent Privacy)

無線ネットワーク上でデータのやりとりをする際に、そのデータを暗号化して保護します。64ビットまたは128ビットのキーを用いて暗号化することによってネットワーク上でのセキュリティを強化します。

NetBEUIプロトコル

小規模LAN用のプロトコルです。NETBIOSと統合することによって、ワークグループのLAN環境で効率的な通信システムを実現することができます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

TCPはトランスミッション・コントロール・プロトコルを意味し、IPはインターネット・プロトコルを意味します。この２つの組み合わせによりルータなどを経由して異なるプラットフォームの端末間で通信することが可能となります。

クライアント

ネットワークに接続されたパソコンのうち、一般のユーザーが使用する端末を意味します。

ピア・ツー・ピア

コンピュータ同士が1対1で対等に行う通信です。

AdHoc

単純なピア・ツー・ピア接続でアクセスポイントが存在しない場合でも、無線LAN機能を装備しているパソコン同士でネットワーク通信を行なうことが可能となります。

802.11 AdHoc

AdHocと同様で無線LAN PCカードを装着しているパソコン同士で通信を行なうことができます。さらに同一のSSIDを設定したパソコン同士での通信が可能です。AdHocに比べセキュリティを強化することができます。

Infrastructure

アクセスポイントを使用して通信を行います。無線LANと有線LANを混在させたネットワーク環境を構築できます。

5章

修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

1 ユーザサポート窓口のご案内

●異常や故障が発生したら、次の ①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。
①使用している機器の名称
②ご購入年月日、ご購入先
③現在の状態（できるだけ詳細に）

●保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）

●海外での修理サービスについて
本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

●郵送で修理依頼される場合のお願い
・郵送される場合の郵送料金、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。

1．修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れるか、または郵送用の袋（メールバッグ→文具店などでお買い求めいただけます）などに入れて、お送りください。
2．郵送は簡易書留をご利用ください。

送付先
東芝PC IOSセンター
〒261-8580　千葉県千葉市美浜区真砂5-20-7 TOPSビル4F
TEL 043-278-5970
FAX 043-278-9035

MEMO

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記の「お問い合わせ先」にて承っております。

この製品のご使用上のお問い合わせ窓口

◆受付時間◆

9:00～12:00　13:00～17:00

土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

東芝ＰＣ ＩＯＳセンター

TEL　043-278-5970

FAX　043-278-9035

無線LAN PCカード取扱説明書

2003年2月　　Ｂ１版発行

発　行　株式会社東芝　デジタルメディアネットワーク社

ＰＣ事業部

〒105-8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号

http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/

Ⓒ 2002　TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　　無断複製および転載を禁ず

DHJ265A（87104719）